

10/20

愛南の秋を堪能  
愛南まるゴチ秋の味覚祭 / リレーマラソン



愛媛CATV  
動画



各地域ご当地キャラクターたちと記念撮影

愛南町の秋の味覚を味わってもらうと、「愛南まるゴチ秋の味覚祭」(愛南食のイベント実行委員会主催)がレクザム愛南工場敷地内(広見地区)で開催されました。

今年度は町が合併15周年を迎えたことを受け、スペシャルゲストのガリットチュウによるお笑いステージショーや、「ヒオウギ貝」と「媛っこ地鶏」をふんだんに使ったジャンボパエリアの実演販売、忍者のようにアスレチックを攻略するニンジャマックス、貝殻やガラスなど海岸の漂着物を活用したシーボンアート作り体験など、新企画を多数そろえイベントを盛り上げました。

また、グルメゾーンでは地元の特産品や町内外のご当地グルメの販売が行われ、来場者は秋の味覚を思う存分堪能しました。

他にも、恒例となったうり坊レースや、昨年度反響の大きかったバブルボール体験など、充実した内容でイベントは終始賑わいを見せました。ジャンボパエリアを食べた宇和島市の東村めいさん(5歳)は、「パエリアのヒオウギ貝のところがおいしかった」と話しました。



ジャンボパエリア



バブルボール



うり坊レース



スタートを切った選手の皆さん

愛南まるゴチ秋の味覚祭と合わせて、同会場内で「愛南まるゴチリレーマラソン」が開催されました。リレーマラソンでは、4〜10人でチームを組み、1周1.4キロメートルのコースを3時間で何周走れるかを競い合いました。今回は町内外から52チームが参加して白熱したレースが繰り広げられ、36周を記録した城辺中学校駅伝チームが総合優勝を果たしました。レースに参加した愛南アスリートチームの岩崎早百合さんは、「まるゴチリレーマラソン走り切りました。レディース部門で4連覇できてうれしい」と笑顔で感想を述べました。

10/  
18

## 地域へ恩返し シルバー人材センターの会員らが除草作業



シルバー人材センターの会員や職員の皆さん



事務所周辺で草刈りや草引きを行う会員

10月の「シルバー人材センター事業普及啓発月間」に合わせて、愛南町シルバー人材センターの会員や職員など19人が、約1時間かけて事務所周辺の除草作業を行いました。

地域への恩返しなどを目的に毎年行っており、ここ2年間は事務所が所在する御荘老人福祉センター周辺で実施しましたが、過去には町内の福祉施設や公共施設などに出向いて作業を行ってきました。

同センターの弘瀬八重美理事長は、「こういった活動を通じてみんなにシルバー人材センターを認識していただき、地域になくはない存在にしていきたい」と話しました。

なお、愛南町シルバー人材センターでは、一緒に仕事をしていただける会員を募集しています。概ね60歳以上の方が対象です。

詳しくはお問い合わせください（電話：73-2900）。



長月小学校全校児童の合唱でコスモス祭りが開幕

地域住民が集い関わりを深めることで、郷土を愛し誇りに思う気持ちを育てようと、長月地区や長月小などの共催により毎年行われています。

コスモス祭りに参加した長月小6年の小松研斗（けんと）さんは、「イベントがたくさんあって、特に友達と一緒に風船を作ったのが楽しかった」と話しました。

長月小学校体育館で「長月コスモス祭り」が開催され、長月小学校児童や長月保育所園児、地域の方など大勢が参加しました。

### 地域の人と関わり深めた コスモス祭り

10/  
26



愛媛CATV  
動画



息の合った合唱を披露する「コーラスかなりや」の皆さん

ステージに出演してダンスを披露したダンスサークルわかば会会長の山下タマミさんは、「みんなが楽しんで踊ることができた。緊張せずに平常心でできた」と出来栄えに満足した様子でした。

一本松山村開発センターで「一本松地域文化発表会」（愛南町文化協会一本松支部主催）があり、書道や写真、短歌などの作品が会場内に展示されたほか、ステージでは大正琴やコーラス、ダンスなどが披露されました。

### 一本松地域の伝統芸能に触れる文化発表会

10/  
26



愛媛CATV  
動画



10/31 大人も子どもも  
ハロウィン仮装パーティー



仮装で患者に元気を与える子どもたち

国保一本松病院で「ハロウィンパーティー in 一本松病院」が開催され、職員や入院患者らがハロウィンの衣装に仮装して地元の一本松小学校児童を迎え入れました。

この催しは同病院で副院長を務める嶋本純也さんの発案で昨年開始し、今回で2回目になります。

この日は一本松小学校全校児童が仮装し、学年ごとに同病院を訪れ、“いたずらされたくなければお菓子をちょうだい”を意味するハロウィン特有の掛け声である「トリック・オア・トリート」と声を掛け、職員や入院患者から順番にお菓子をもらいました。

参加した4年生の田中匠治郎さんは、「マントはお母さんの手作り。たくさんお菓子がもらえて楽しかった」と話しました。

10/31

収穫が待ち遠しい野菜  
づくり体験



タマネギの苗を植える一本松小学校の児童

食育推進活動の一環で、農業支援センター主催による野菜づくり体験が一本松小学校であり、2年生19人がタマネギとブロッコリーの苗の定植作業を行いました。

この日は、農業支援センターの職員が指導にあたり、苗の植え方や植えた後の管理方法、野菜の品種などについて説明し、その後、児童は順番に校庭の畑に苗を植えていきました。

参加した2年生の山口智也さんは、「ブロッコリーを植えるのが楽しかった。野菜がなるのが楽しみ」と話し、収穫が待ち遠しい様子でした。

11/2

気迫のこもった大一番  
大山祇神社奉納相撲



土俵に入れば取組開始の飛びつき五番勝負

山出地区大山祇神社の土俵で奉納相撲が行われ、子どもと大人合わせて30人ほどが参加しました。

この行事は、100年以上前から行われており、昭和50年代に担い手不足等により一度途切れましたが、昭和60年に山出青壮年が地区を盛り上げるために復活させ、今日まで続いているそうです。

山出青壮年の山口誠さんは、「今年は多くの方が参加してくれて、例年になく、白熱した取組を見ることができました。ありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。

## 11/5 城辺地域で自主防災会や中学校の合同避難訓練



愛媛CATV  
動画



机の下に身を隠す生徒



地域住民や消防署の職員と一緒に避難所準備

地震による災害からできるだけ早く避難するための能力や態度を身に付けるとともに、避難所生活への理解を深めることを目的に、城辺中学校体育館で校区内の自主防災会・消防団と城辺中学校の合同による避難訓練が行われました。城辺地域全体でこういった防災訓練が実施されるのは初めてのことです。

愛南町自主防災会連絡協議会副会長(城辺地域の自主防災会代表)の裡田日出夫さんは、「訓練が重要であることを地域住民の方にも気付いていただき、災害が起きた際には自主防災会が中心になって適切な避難所運営をしていく必要がある」と話しました。

訓練に参加して受付係を務めた1年生の中尾綾音さんは、「たくさんの人が一斉に来たので練習のときよりも大変だったが、みんな協力して終わることができた。今後は家庭での備えをしっかりと、自分の命を守れるようにしたい」と話しました。



調理実習でかみ応えのあるおやつを作る参加者

この教室は、歯に良い食事やおやつのお味の理解と歯の健康への意識を目標に、調理や実食を通して、かむことの効果を知り、虫歯予防や歯の健康づくりに対する意識の向上を目的としています。

子どもと参加した田村奈々さんは、「昨年も参加したが、家で普段食べる物より、クッキング教室で習ったおやつの方が子どももよくかんで食べる」と話しました。

親子でかむこと学ぶ料理教室

11/7



防火標語を持ち愛南警察署からJA御荘支所までパレード

秋の全国火災予防運動に合わせ、愛南町消防団主催による「令和元年度御荘防火パレード」が行われました。

この日は、御荘保育所幼年消防クラブや平城小学校少年消防クラブ、平城小学校バトン・トランペット鼓隊などが参加し、火の用心のうたを歌いながら行進して火災予防を呼び掛けました。

愛南町消防団の松岡増幸団長は、「これから空気が乾燥し火災が起きやすい時期に入るので、防火意識を高めて、火災を起こさないように気を付けてほしい」と話しました。

火の用心を呼びかける防火パレード

11/9



愛媛CATV  
動画

愛媛CATV  
動画11/  
9

## いろいろな秋を楽しむ GT秋の子ども大収穫祭～全員集合!!～



野菜釣り＆重量当て体験



竹細工体験



温州ミカン生搾り体験

旧満倉小学校屋内運動場で「GT(グリーン・ツーリズム)秋の子ども大収穫祭～全員集合!!～」(愛南グリーン・ツーリズム推進協議会主催)が開催され、親子連れなど約50人が参加しました。

この行事は、子どもたちに普段できない体験をしてもらい、さまざまなことを感じて、楽しんでもらうことを目的としています。

収穫祭では、野菜を釣って重さを当てる野菜釣りや真珠を使ったアクセサリー作り、みかんの生搾りジュース作りなどの体験ができ、子どもたちは楽しんでいました。

参加した奥野双葉さん(平城小3年)は、「真珠のアクセサリー作りが楽しかった。のりを付けるところが難しかったけど、上手に作れてよかった」と笑顔で話し、羽田琥哲さん(緑小5年)は、「野菜釣りは重さを当てるところが難しかったけど、釣るところがおもしろかった」と楽しそうな様子でした。

11/  
9-10愛媛CATV  
動画

## 伝統を未来へつなげる 愛南町文化祭

郷土の伝統文化にふれ、未来につなげていくことを目的として、「令和元年度愛南町文化祭」(愛南町文化協会主催)が2日間、御荘文化センター、城の辺学習館、平城交流センターの3カ所で実施され、文化作品の展示やステージでの発表などが行われました。

オカリナクローバーに所属し、ステージでオカリナ演奏を披露した中尾利恵子さんは、「練習の成果が出て、落ち着いて演奏ができた。みなさんの前で演奏できて気持ち良かった」と出来栄えに満足した様子でした。



ステージで三味線を披露する出演者

11/  
11

## 災害に備えて一本松 中で防災頭巾製作

一本松中学校で1年生を対象に愛南町連合婦人会の指導の下に防災頭巾製作が行われました。

この活動は、身を守るための防災用具の製作にとどまらず、生徒たちの防災意識を高めることを目的として3年前から行われています。

防災頭巾を製作した山元希来さんは、「ミシンで縁の部分縫うところが難しかったが、まあまあ良くできました。これならいざという時に使える」と感想を述べました。



婦人会の方から頭巾の縫い方を教わる一本松中学校の生徒